

## 第 31 回 新しい資本主義実現会議

令和 7 年 2 月 27 日 シナモン AI 平野未来

### AI エージェントによる、雇用構造の変化

- 全ての分野での AI エージェントによる働き方の変化が訪れる年となる。

AI エージェントによる効能	例
コスト削減	カスタマーサポートの自動化、保険の審査、
リスク削減	保険の引き受け、工場のインシデント予測
トップラインの向上	営業職員へのアドバイス、マーケティングのパーソナライズ化
エクスペリエンス向上	学習促進、音声アシスタント
R&D	研究テーマの仮説立て、ドキュメンテーションの補助

- スタートアップでは人員数削減が既に開始されている。新たに設立されたスタートアップでは AI ファーストのオペレーションにより、社長一人で運用する例が出てきている。  
→2040 年 6000 万人の労働人口を維持できるのか？
- AI 活用による男女差の解消

## AI for Science で、日本を再び技術立国へ

- 通常、「調査」→「仮説立て」→「開発」→「検証」→「ドキュメント化」のループを回すことで科学は進化していく
- 「調査」「仮説立て」「ドキュメント化」は既に AI により自動化されつつある。「開発」や「検証」はフィジカルが関わるため、自動化の進捗は遅れている。自動化が進むと、技術進化のループが高速に循環することで、科学の進化を超高速化し、日本を再び科学技術立国へ

